

O.E.カットダイヤモンド

ご説明資料

## 「O.E.カット」ダイヤモンドは ダイヤモンドが最も美しく見えるカットです

O.E.とはオーバーエクセレントのことで、従来最高のカットグレードであったエクセレントを超えるカットという意味です。

O.E.カットダイヤモンドは、58面ラウンドブリリアントカットにも関わらず、面の角度の最適化により、ブリリアンシー（輝きの強さ）、シンチレーション（動的）、きらめき感、ディスパージョン（色づき）の3つを最高に引き出したカットです。

### 〈O.E.カットとエクセレントカットの表情の相違〉

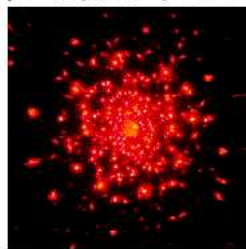


O.E.カット

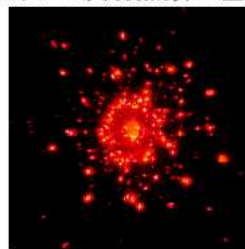


エクセレントカット

### 〈O.E.カットとエクセレントカットの反射点数の差〉



O.E.カット450点



エクセレントカット230点

## 4Cを超えた「O.E.カット」ダイヤモンド

一般にダイヤモンドの価値は、4Cによって評価されてきました。  
しかし、O.E.カットは光学計算や視覚特性を考慮し、  
新たに「輝き」という基準にもとづいて評価しています。  
その結果、目で見てその輝きの違いや美しさが、すぐに判別できます。

ボディーカラー、重さ、カットの基準が従来の4Cとは全く異なり、  
O.E.カットダイヤモンドが、4Cを超えたダイヤモンドと呼ばれる所以です。

### ダイヤモンドを評価する従来の4C基準

**Color(カラー)** :ダイヤモンドは、無色のものもあれば黄色いものもあります。無色なほど希少価値が高いのですが、カラーグレードは極めて微妙な差で評価されます。

**Clarity(クラリティ)** :ダイヤモンドは自然が生み出した造形物です。ごく一部を除けば、ダイヤモンドには多少なりとも内包物や成長痕などが含まれます。人間と同じようにこれらは個性だといえます。

**Carat(カラット)** :正確には、カラットは重さのことであり、サイズ(直径)を表すものではありません。カラット数が大きくなれば希少性は高くなります。

**Cut(カット)** :ラウンドブリリアントカット(一般的なラウンドカット)では、カットの程度が評価されます。全体的な形のバランスや研磨の仕上げの状態を形式的に表します。



**「輝き」を評価する新基準 = 「O.E.カット」ダイヤモンド**

O.E.カットダイヤモンドは、

- ・ 従来のエクセレントを超える輝き、きらめき、色づきです。(カット基準を覆します)
- ・ 反射光がより白く輝きます。(カラー基準を覆します)
- ・ 同じカラットでは、直径が大きくなります。(カラット基準を覆します)
- ・ 周囲まで輝く為、さらに大きく感じられます。(カラット基準を覆します)

## 「O.E.カット」は特許取得により世界基準へ

日本、米国をはじめ世界主要各国でO.E.カットの「輝き」に関する特許を取得いたしました。

これにより、O.E.カットがダイヤモンドの最高の輝きを実現したカットであることが証明されました。

取得特許 2006年4月現在

日本: 第 3643541 号

香港: 1043025

アメリカ (2件): 6,694,778、6,818,280

台湾 (2件): 200465、237557

ロシア: 2231964

韓国: 1004767940000

オーストラリア: 769674

シンガポール (3件): 104357、111160、114494

中国 (2件): 218096、ZL03110714.1

南アフリカ (2件): 2001/6774、2003/1228



日本特許証



アメリカ特許証

## 補足資料 「O.E.カット」ダイヤモンドの特徴

O.E.カットダイヤモンドは、「輝き」、「動的きらめき」、「色づき」が非常に高く、従来のダイヤモンドとは明らかな違いがあります。また、カット条件の相違から、「重さ」の概念が従来とは大きく異なります。

### 【輝き 高度な光学技術による21世紀のカット】

ダイヤモンドの反射による輝きの強さをブリリアンシーと呼びます。

O.E.カットは、光がダイヤモンドに当たる角度から反射を計算し、最も有効に反射する条件を探し出しました。

また、人間の視覚特性(目の感覚の特徴)を取り入れることで、見た目の輝きを最高に高めると共に、「輝き」の美しさを表現することに成功しました。

高度な光学設計

O.E.カットの設計技術

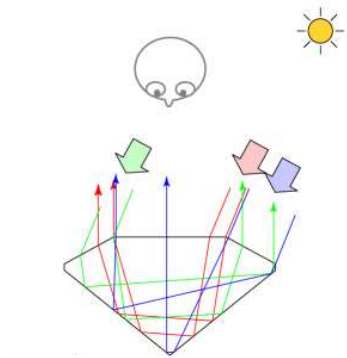
視覚特性の導入

現実の光源の考慮

### 【輝き 周囲まで輝くダイヤモンド】

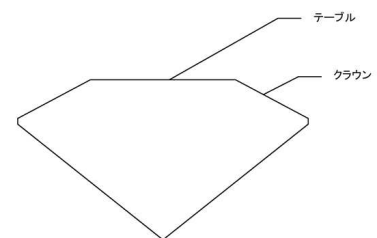
O.E.カットは、テーブルとクラウンからの光の入射角度を一致させることで、輝きがさらに強くなりました。

(右図の赤、青、緑で示した光の入射角度と、出射角度が一致しています。)



テーブルと呼ばれるダイヤモンドの上面は、ダイヤモンドの輝きに重要な役目があります。従来のカットのダイヤモンドは、テーブルが良く輝くと言われています。

O.E.カットは、テーブルに加えてクラウン(上部の周囲)まで非常に良く輝きます。輝きの強さを高めるのはもちろん、同じ直径でも従来のカットより20~30%大きく見えます。



## 補足資料 「O.E.カット」ダイヤモンドの特徴

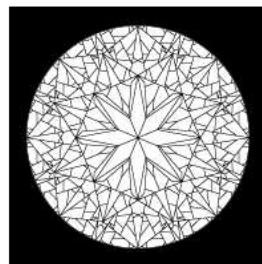
### 【動的きらめき】

ダイヤモンドに入った光が、キラキラと光る閃光のような反射をシンチレーションと呼びます。

シンチレーションは、ダイヤモンドが動いたときに反射光が連続的に発生するような分布を実現すればよく、その為には反射光が粒ぞろいでたくさんあることが望ましいとされます。



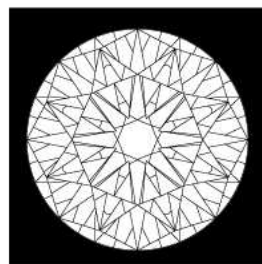
《O. E. カットの反射光パターン》



《計算されたO. E. カットの反射光パターン》



《エクセレントカットの  
反射光パターン》



《計算されたエクセレントカットの  
反射光パターン》

光の粒が  
細かく粒ぞろい

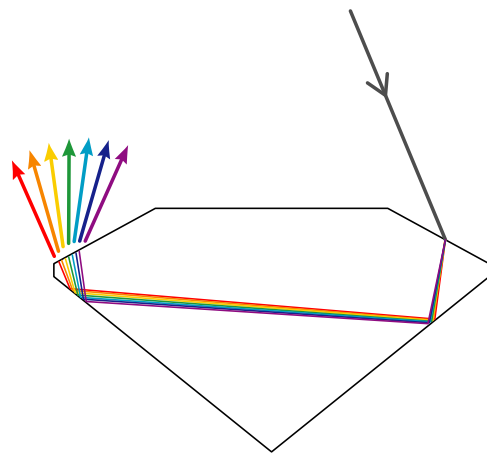


輝きが強く  
きらめき感が高い

## 補足資料 「O.E.カット」ダイヤモンドの特徴

### 【色づき】

ダイヤモンドに入った光は、内部で複雑に反射を繰り返すことで7色の虹色に輝きます。このことをディスパージョンと呼びます。



### 【重さにとられない「O.E.カット」】

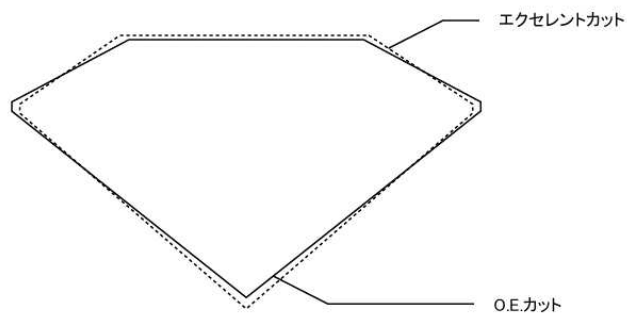
ダイヤモンドの重さは、カラットで表示されています。

O.E.カットは、重さにとられずにダイヤモンドの持つ美しさを最大限に引き出したカットで、輝きにとって無駄になっていた部分を極限まで削り落とした形状をしています。

このため、同じカラットでは実際に直径がひとまわり大きくなり、

さらに、輝きの良さとあいまって非常に大きく見えるのです。

カラット数にとられずに、輝きと大きさでお選びください。



#### 著作権に関する注意事項

この資料の著作権は、O.E.CUT DIAMOND 株式会社及び株式会社ほほえみブレインズに帰属しています。資料及びサイト内のコンテンツやデータなどは、私的利用の範囲内で使用し、無断転載・無断コピーなどはおやめください。私的利用の範囲を超えるご使用の場合は承諾が必要です。

2006年9月